

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：社会科学】

大 学 名	政策研究大学院大学	整理番号	I - 1
拠点のプログラム名称	アジアの開発経験と他地域への適用可能性		
中核となる専攻等名	政策研究科政策専攻		
事業推進担当者	(リダー)大野 健一 外6名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>本学は社会科学分野における唯一の大学院大学である。現在、博士・修士プログラムを通じ、開発経済学を中心とする大学院教育を英語で提供しており、修士課程学生の大半は途上国政府から派遣された行政官である。修士課程の充実という目標がほぼ達成された今、次の目標は研究活動と博士課程の強化であり、教育・研究間の連携の深化である。小規模ながら開発政策における専門性・人脈を有する本学は、国際開発戦略研究センターを核としてFASID、アジ研等、関連機関と連携しつつ、実証分析に立脚した開発の戦略研究を推進すると同時に、国内外の研究者、政策決定者からなる知的・政策コミュニティの構築を通して政策議論のハブかつカタリストとなることを期する。また、博士課程の学生をこのプロジェクト研究に参加させON THE PROJECT TRAININGによって新しい型の研究者、専門家の養成を狙う。この数年来、政府との共同作業、国際会議の主催、政策提言等を行っており、これらを統合・拡張し拠点形成を行う。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>事業推進担当者の多くは国際的に見ても第一級の業績を挙げており、研究体制を充実し、優れたチームワークを発揮することにより、世界的水準の研究を行うことが期待できる。アジアの開発経験を一般化し、他地域への適用可能性を探るといった目的も学術的、社会的に非常に重要である。事業推進担当者をコアとして世界水準の研究・教育拠点が形成されることを期待する。</p>			